

保護者の皆様へ

## 1 家庭学習の手引きのねらい

小学生の学習は、将来子どもたちが社会人として自立するための基礎となる大切なものです。学校でも学習内容が定着するように日々努力していますが、家庭と協力し合うことで、子どもたちの力はさらに何倍にも高められます。家庭学習の習慣化で子どもたちの「生きる力」をさらに高めていくことができます。

ぜひ、お子様と一緒に、この家庭学習の手引きを活用してください。  
ご理解とご協力をお願いします。

## 2 家庭学習のねらい

- 1 学校で学習した内容を、より確かなものにします。
- 2 家庭での学習習慣を身に付けます。
- 3 自ら学ぼうとする態度や、学習に対する自信を高めます。
- 4 脳を活性化させます。
- 5 「がまん強さ」・「根気」・「集中力」を身に付けます。



生涯にわたる  
「学び」へと  
つながります。

生きる力

## 3 家庭学習を支えるもの

規則正しい生活習慣が大切です。

- 1 「早寝・早起き・朝ご飯」を大切にしましょう。
- 2 毎日、少しずつでも運動をさせましょう。
- 3 テレビやゲームの時間を話し合って決めましょう。
- 4 家族の一員として、お手伝いにも取り組ませましょう。
- 5 家庭学習に取り組める時間帯を話し合しましょう。

## 4 家庭学習の習慣や方法

### (1) 家庭学習の習慣（家庭学習のポイント）

- ①毎日、必ず学習する。（できるだけ時間を決めて行う。）
- ②テレビを消して行う。
- ③毎日、同じ場所（自分の机、居間、食卓など）で行う。
- ④机の上をきれいにし、姿勢を正して行う。

### (2) 家庭学習のめやす

（宿題を含めて）

- |     |       |
|-----|-------|
| 1年生 | 20分以上 |
| 2年生 | 30分以上 |
| 3年生 | 40分以上 |
| 4年生 | 50分以上 |
| 5年生 | 60分以上 |
| 6年生 | 70分以上 |

※あくまで、めやすです。



## 5 家庭へのお願い

- お子さんと、家庭学習の大切さについて、機会をとらえて話し合しましょう。
- 学年に応じて、声かけや見届けをしましょう。
- やったことを認め、ほめたり励ましたりしてあげましょう。
- お子さんが困っているときは、相談に乗ってあげてください。
- それでも困ったときは、担任にご相談ください。（家庭と担任が知恵を出し合しましょう。）
- 難しい問題でも、簡単に投げ出さず、じっくりと考えさせ、最後まで取り組ませましょう。

「よくできたね。」  
「きれいに書けたね。」  
「この頃がんばっているね。」  
「これもできそうだね。」  
「もう1度やってみようか。」  
など



## 6 各学年の取り組み

### ◎1年生

担任から出される宿題を確実にこなしていくことによって、家庭学習の習慣づけをする時期です。家庭からの声かけによって、継続して取り組めるようにしてあげるのも、大切なことです。

### ◎2年生

1年生から継続して、担任から出される宿題を確実にこなしていくことによって、家庭学習の習慣をより確かなものにする時期です。この時期も、家庭からの声かけによって意欲をもって取り組めるようにしてあげることは、大切なことです。

### ◎3年生

担任から出される宿題を確実に取り組んでいくことによって、学習内容の定着を確かなものにしていきます。また、自分が間違えたところや分からなかったところを、ノートにもう一度やってみるという学習（自主学習の初歩として）に取り組むのにもよい時期です。

### ◎4年生

担任から出される宿題を確実に取り組んでいくことによって、学習内容の定着を確かなものにしていきます。プリントやテストで間違えたところを、ノートにやり直してみることに取り組ませたいものです。苦手な教科の教科書を書き写すことも効果があります。

### ◎5年生

担任から出される宿題や自主学習に確実に取り組むことによって、学習内容の定着を確かなものにし、学習をさらに進めていくことができます。  
プリントやテストで間違えたところや分からなかったところを、もう一度ノートにやってみるという習慣化が大切になります。

### ◎6年生

担任から出される宿題や調べ学習に確実に取り組むことによって、学習内容の定着を確かなものにし、学習をさらに進めていくことができます。  
プリントやテストで間違えたところや分からなかったところを、もう一度ノートにやってみて、自分のできなかつたところを知り、次回に生かせるようにしておくことが大切になります。